

標準化会議事業計画

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づいた規格づくりを進めている。国内標準化活動では、JIS、JASO 及び JSMA 規格の制定及び改正原案作業に取り組む。国際標準化活動では、ISO/TC227 ばねの規格開発を継続実施する。具体的には、2024 年度から日本がコンビーナとなり進められている ISO 16249 「ばね—記号」について、DIS（国際規格案）・FDIS（最終国際規格案）を経て 2027 年 1 月の国際規格発行を目指す。

また、9 月 18 日にポーランドのワルシャワで開催される第 22 回 ISO/TC227 ばね国際会議に参加し、ISO 規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 標準化会議開催計画

第 1 回標準化会議は 6 月、第 2 回は 9 月、第 3 回は 2027 年 2 月に開催予定である。

ISO/TC227 ばね国際規格開発、各部会担当の JSMA、JIS 及び JASO 規格開発の活動計画について審議予定である。

3. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

2026 年度は、以下 4 規格の改正素案作成作業を行う。活動期間は、2026 年 7 月～2027 年 2 月の 8 ヶ月間。

- ・ JIS B 2710-1 「重ね板ばね—第 1 部：用語」
- ・ JIS B 2710-2 「重ね板ばね—第 2 部：設計方法」
- ・ JIS B 2710-3 「重ね板ばね—第 3 部：測定及び試験方法」
- ・ JIS B 2710-4 「重ね板ばね—第 4 部：製品仕様」

また、JIS B 1251 「ばね座金」及び JIS B 2713 「薄板ばねの設計計算式及び仕様の定め方」については、改正に向けて活動を開始する。

その他、定期見直し調査対象の 3 規格への対応を行う。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格会議要素部会の活動に例年どおり参加し、規格改正作業を進める。また、ビークルダイナミクス部会の活動にも参加する。

③ JSMA 規格関係

改正が決定している 4 規格への対応と、5 規格の定期見直しを行う。

(2) ISO 規格関係

① ISO/TC227 ばね関連の国際標準化活動

1) 第 22 回 ISO/TC227 国際会議

9月18日にポーランドのワルシャワで開催予定の国際会議に参加し、以下の議題を審議する予定である。

- ・ ISO 16249 「ばね—記号」
- ・ ISO 26909 「ばね—用語」と ISO 16249 「ばね—記号」の統合について
- ・ ISO 18137 「板ばね—技術仕様」及び ISO 22705-1 「ばね—測定及び試験パラメーター 第1部：冷間間成形円筒圧縮コイルばね」の定期見直し投票の結果について

2) ISO/TC227 ばね 国内委員会

国際会議及び投票案件への対応のため、標準化会議と同日に国内委員会を開催予定である。

3) ISO/TC227/WG5 国内タスクフォース

ISO 16249 「ばね—記号」の DIS に対して日本の対応を検討する予定である。

② 政府制度の活用

政府制度を第 22 回 ISO/TC227 国際会議にて活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。